



声かけあって
 事故を起こさない!
 起こさせない!
 目指そう
 安全・安心・楽しい
 森づくり活動を!!

contents

- ★ 4月例会案内
 尾長天満宮 4月21日(日)
 2
- ★ 例会報告「楠那竹林整備」
 : 冨田
 3
- ★ 来たれ! クラフト部会へ : 山本
 4・5
- ★ 部会報告
 クラフト : 高杉
 里山 : 徳永
 環研 : 佐々木
 6
- ★ この人あり 中村訓子
 ★ 今月のひと枝 : ゲンゲ(レンゲソウ)
 7
- ★ 4月・各部会の活動予定
 会費納入のお願い他
 8



倶楽部、地域のみなさん、大勢参加! 今から、向かって右上の竹林を整備します。

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ ゆめみらい株式会社
- ◆ 株式会社東和テクノロジー ◆ こだまクリニック
- ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆ イオンスタイル広島府中・マックスバリュウ西風新都店
 (イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)
- ◆ 公益財団法人 SOMPO 環境財団

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、拡げる活動。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。
 広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
 地域と共に活動。技術安全研修を実施。

案内



4月地域貢献例会



「尾長天満宮鎮守の森」整備

～ 雑木・竹藪伐採及び参道の整備他～ 《担当：1班》

◆日 時： 4月21日（第3日曜）9時30分～

※担当班のメンバー＆リーダーは9時00分までに集合して下さい。

◆集合場所： 尾長天満宮裏山駐車場

※広島市東区山根町 33-16 《広島朝鮮学園校門前》

ナビ検索位置：東区山根町 37-50



◆持参物： 山の道具（道具の貸し出し有り）・名札・呼子（笛）

※弁当は要りません。地元のご厚意でカレーを用意して下さいます。

◆申込み： 4月10日（水）までに各班長へ連絡。

※ 申し込みの日を、準備の都合上これまでより早めています。ご協力ください。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

※ もりメイト倶楽部会員外の方は、例会参加費 500 円受付にてお渡し下さい。



写真は昨年5月の例会から。下は草刈り指導前の解説中

尾長天満宮での活動は2009年から始まり
ました。当時、山本理事長が二葉山をフイ
ールドに尾長小学校の自然体験活動に関わ
っていた際、同メンバーから「宮司自ら鎮守の
杜の手入れをしているが、一人では守り切
れない、是非力を貸して欲しい」と相談を受
けたのが整備を始めるに至った経緯です。こ
れまで鎮守の杜と二葉山の景観を守るため、
森の整備を通して、町内会、子ども会、近
隣の中高生と共に、森の大切さを共有し、
地域との交流の輪を広げてきました。

5月例会は、春のグリーンフェアの関係で第3日曜の5月19日に。北広島町「ゆとりの森」で。



「安全な作業・景観を整える」を目標にした整備後の竹林。
右上：作業場を目指して登りました。はあはあ・・・。



前日の雨が朝方まで続き心配しましたが、当日は曇りに変わり寒くもなく作業に適した天候になりました!! 参加者は総勢

57名。うち倶楽部員の女性参加率 43% (前回 24%) と、とても力強く感じました。

ふれあい樹林での「竹林整備」は、10 数年前から竹の伐採体験や研修を兼ね、当倶楽部の各班が輪番制で引き継いできた場所です。その都度、竹が密集したエリアを選定し「決めた基準 4m 当たり 2本」に伐採処理することで整備を終えていました。この様な取り組みを繰り返したため、あちらこちらに棚積み跡が残り、竹林の景観を損ねる結果となっておりました。

3 年前の伐採作業時に枯損竹が滑落し危ういヒヤリが発生。その経験から「作業エリアを等高線上」に割り振り、

- 1) 上下作業を避ける。
- 2) 等高線上に 4m幅の作業道 (全伐) の空間を作る。
- 3) 空いた作業道に向け引き倒す作業方法を取る。
- 4) 道の完成後はエリア内を基準通間伐し全体を整える。
- 5) 棚積みも等高線に沿って帯状に繋げ (害獣の防壁) 整える。などとし「安全な作業・景観を整える」を目標に取組み始めました。今回が 2 回目ですが多くの方に参加いただいたお陰で、景観を損ねていた倒木や立枯れ、棚積み跡の整備も進み全体では 60%~70% あまり改善したように感じました。次回は目指す竹林により近づけるのではないかと思います。半面、立派な「竹の子」が生

え、太さ 30 号あまりある竹が多く見られるようになりました。竹林としては良い事ではありますが、竹が太いため間伐する手間・労力は半端ないよ!! 喜んでよいのか? 悲しいことか? との参加者の声も・・・しかし、日もよく差し込み「竹の子」の生産にとっても良い環境となり、竹林としても真直ぐな竹が目立つ美しい竹林へ変わりつつあります。

参加された皆さんからも「良い汗を流した」「楽しかった」との声も聞かれ、事故やケガ無く例会を終える事が出来ました。皆様に感謝、感謝です。次回もお力をお貸し下さい、よろしく願いいたします。

<心のつぶやき・・・>

関係者了解の上での事ですが、有料でも「竹の子狩り体験」など地域の方々等に計画的に利用して頂くと、持続的な環境整備につながるのでは「もったいないナ・・・」と、フツと思いました。



地元参加住民の指導奮闘中



作業説明、注意事項など楠那公民館にてミーティング。 今日元気! あふれる女性パワー。



清々しい竹林になりました。おつかれさま～。



倶楽部の活動はバラエティー豊か！



ものづくりは楽しい！ = 求む、クラフト好き！ =
 ～ クラフト部会誕生のいきさつと、未来に向けて進むためには ～
 理事長 山本恵由美

森林整備活動や自然体験等で除伐した材を有効利用することは、循環を考える上で重要な事。

クラフト部会は森の中だけではなく、屋内外、場所を問わず展開できるため、森林整備の重要性や有効活用の啓発が出来る部会として重要な責務を担っています。多くの会員の楽しみとしても有用な部会。社会的に大きな貢献を実現していくためにはさらに皆さんの参加、協力が必要不可欠です。このたびはその呼びかけとしてお伝えします。

倶楽部を発足した当初は、大勢の仲間が集まって活動することがとても楽しみで、毎月その日が待ち遠しかったこと。そんな例会では間伐、下草刈り、里山整備と作業をこなしている合間に、木のツルでカゴを編んだり、小枝のついたヒノキの皮を剥ぎ、乾燥させて白木のハンガーツリーにしたり、作業で出た材料を利用するクラフト工作もまた楽しみになっていきました。

そんな中「間伐部会」、「里山部会」と目的を持った部会活動がはじまり、クラフトについても「ただ山で作業をするだけでなく自然の物を活用して作る」また、そのために人々が集まることも含めて活動していこう、という事で2003年から「クラフト部会」がスタートしました。

部会として最初の活動は、2003年10月25日に安佐北区白木町の中世の山城の北田城跡で開催された森の音楽会。その時に演奏していただいた広島市立舟入高校吹奏楽部の皆さんに、お礼として「状差し」を作り、プレゼントすることから始まりました。



森の中で演奏会
 (舟入高校吹奏楽部)



森の音楽会で演奏する舟入高校吹奏楽部のお土産づくりの様子。交流プラザにて2003年

【クラフト部会の変遷：part 1】

初代の山田部会長の時代は、部会の方向性を模索するためにまず施設やイベント等の視察から始まり、2004年に広島市環境局中工場の「エコ祭り」、2005年に島根県邑南町の「香木の森公園」、2006年には三次市のウッドピアなど研修場所も拡大、少しずつ出向いて指導もする様になって行きました。



みんなが作った作品と一緒に愛でる磯貝さん。ニコニコ、いつも子どもたちと同じ目線で語られます。もりメイトキッズにて:2016年

2代目の磯貝部会長は、桶屋職人の父の姿を見て育ち、木工が趣味で自宅の裏に道具も揃った工房を持ち、技術力の高さから精巧な物作りを得意としておられました。とても勉強熱心で見聞を広めることも楽しみの一つにされていました。

高齢者や子どもの接し方、ケガをしないように要領よく道具を使う方法、工夫や研究する姿をしっかりと見せていただきました。磯貝師匠に習ったことは多く、「技術の基本は押さえること」と「子どもたちに教え伝えていくことの大切さ」をいつもニコニコと語って下さったことは指導の要になっており、部会の素地を固めていただいた神的存在。感謝してもしきれません。



【クラフト部会の変遷：part 2】

2010年に西区美鈴が丘に拠点を移し工房を構えて、最初はノコ、小刀、接着剤、グルーガンなど小さな工具を使っていましたが、徐々に大きな工具も揃えられるようになり、扱う材も大きなものが加工できるようになっていきました。

2007年からは環境教育研究部会が発足し、自主事業である「子ども森林ボランティア養成講座 もりメイトキッズ」が開催されるようになると、クラフト作りの指導を担い、今に至るまで連携協力をしています。

2013年「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」の助成を受け、エンジン式移動製材機を購入。丸太運搬通路など広い作業加工場所の確保が必要になってきたので2016年1月から製材機は湯来町麦谷の松波邸敷地へ。工房は安佐南区祇園山鹿ケ谷の「NPO 法人里山環境保全みどり会」に所有地への移転をお願いして現在に至ります。

部会の主な行事として広島市主催の春と秋のグリーンフェア、広島フラワーフェスティバル、広島市森林公園で開催されるひろしま森の市、福祉分野などにもクラフト指導で参加してきており、企業からの依頼や学校教育の事業でも欠かせない存在になっています。



先輩から後輩へ。製材機の研修を行いました。
湯来町麦谷松波邸にて(2023.5. 14)

【継続できた理由】

《豊富な道具》

助成金や謝礼、会員寄贈等で電動工具を増やしてきた、精密で凝ったものが作れるという気持ちが一歩前進するバネとなっている。

《満足感》

ノコや金槌、ナイフを使ったことのない子供たちに教え、道具の使い方など技術向上と同時に、間伐材クラフトを

通して森を知るきっかけになっている満足感。

《達成感》

出来上がった作品を見て喜ぶ子供たちや家族の笑顔、持ち帰りできる喜び、指導する方も喜びを受け取る。間伐利用は森の重要性を伝えるツール。使命を果たす役割を担う達成感。

【クラフト部会のモットー】は ➡ 「他団体との交流や出会いを大切に、ものづくりの楽しさを伝える」

今後の目標は

- ① 部会メンバーを増やす！
- ② 作品集、マニュアル集の作成
※今まで作ってきた干支の見本など作品の写真の数々をデータとして残す。
- ③ 作品展示会などの視察、勉強会を行う。
- ④ 部会独自で企画・運営するイベントの開催（技術の伝承の木工教室など）

クラフト好き集まれ～!!



クラフト部会力作干支シリーズ

上記のように計画を立てながら今後も、あらゆる場に出かけて行き、森の恩恵、人との関係など整備活動だけではできない「啓発活動」を展開し、さらに森づくりに貢献していくために、参加をお待ちしています。

「20年の歩みとこれから」一部抜粋

3月クラフト部会

5班 高杉 淨治



3月は、「もりメイトキッズ」の小鳥箱、「子どもデイサービスゆうゆう」の活動部材作成を、山本の鹿が谷ベースで実施しました。この場所は、砂防堤の建設工事エリアの中にあり、現在、工事が真っ盛りの状態です。

活動日となる土曜日は、工事休みとなることが多いのですが、工事の進捗状況により、作業がされていることもあります。安全第一に細心の注意を払ってクラフト作業を行っています。これから令和6年度の「グリーンフェア」等のイベントがいよいよ始まりますので、しっかり準備をしようとみんなで励ましあっています。興味のある方は是非とも参加して頂きたいと思います。参加人数：延 20 名。



切り出した材料のリョウブを集積

里山部会

5班 徳永 淳



倒木の処理中 徳永さん

もみのき森林公園でのチェーンソー講習会に参加して4か月間、全くチェーンソーを使用する機会がなかった恵木さんと私（徳永）に突然の学びの場が訪れました。妙國寺（白木）での里山部会で枯れ木の伐倒をしながらチェーンソー技術の訓練のお誘いが岩田さんからあったのです。里山部会自体初めての参加でしたが、第一印象は例会とは違って少人数でとてもアットホームな感じでした。早速、山に入りチェーンソーの訓練開始、まずはアドバイス無しで伐倒していき、修正箇所をその都度指摘する感じの実習でした。私の場合、追い口が高めになる傾向があり、何度もそこを注意されました。やはり、自分で思っている高さ与实际の高さにはギャップがあるのだと感じました。伐倒だけでなく、枝払い、玉切り、棚積みと普段の例会と同じ感じで山の整備も出来ました。昼休憩は、焚火を囲みながらの昼食も楽しく、お寺からの差し入れもあり、心もお腹も満たされました。午後からは新しい薪小屋の組立や床にするための瓦の運搬や既存の薪小屋の整理など、普段の例会では経験した事のない作業を行いました。作業を終了後は、心地よい疲労感と達成感に包まれ、とても清々しい気持ちでオートバイで風を切り、家路につきました。貴重な訓練機会を作って頂きありがとうございました。なお、竹炭は、火を止めるタイミングが早すぎたようで、この度は60点との事(北田さん評価)でした。



窯から出された竹炭

環境教育研究部会

部会長 佐々木 綾子

「もりメイトキッズ」来年度開催に向け、2月と3月に有志が集まり、フィールドの環境整備を行いました。

■2月23日(祝日)曇り 活動人数：11名 ■3月16日(土)晴れ 活動人数：11名

主な作業は、カブトムシ幼虫のすみかの移動と設置。小屋に据え付けたすべり台の架け替え。シーソーの撤去、設置作業。ホダ木周辺の清掃と再設置。朽ちたツリーハウスの撤去作業。土砂で崩れた水路の整備など盛沢山。

4月は山菜やタケノコが取れる可能性がありますので、シーソーの設置作業の続き、古材を利用した薪棚の設置作業等を行いながら、森の恵みを堪能したいと思います。参加希望の方は佐々木まで連絡ください。



土を掘ってシーソーの杭を埋めます



ホダ木周辺の清掃と再設置



水路の整備



すべり台の架け替え



『キッズから 90 才近くのおじ様まで、色々な年代の人と知り合えてとっても楽しく、自分の財産だと思っています。それに森や自然は癒しになります。作業のあとは心地良い疲れでバタンキューです。』

もりメイト倶楽部へ入会のきっかけは？ 『生まれは関西です。広島へ越してきて、たまたま土谷さん(現 3 班班長)と出会い倶楽部へお誘い頂きました。ここで、色んな方と出会い世界が広がりました。倶楽部あつての今です。』

育成講座受講は？ 『コロナ緊急事態宣言の真最中でした。半日で終了の作業が多く、植林の時などは地拵えがすでに済んで植えるだけだったのですが、植える本数のノルマがあり、時間がなくて寒くて必死、大変でした。班のみんながとっても仲良しで、時間が短い分中身が濃かったように思います。』

趣味や、今、関心のあることは？ 『以前から山登りが好きで、今、黄金山の麓に住んでいるのですが、運動不足にならないように休みの日にはよく上り下りしています。私、子どもの頃からぬりえが好きなんです。色鉛筆のいいのを頂いたので、ひたすら塗っていると無心になり、とてもいい気分転換になります。』

活動の中で感じたことは？ 『1 月例会の恵下山では、のり面の草取りでしたが、やり残しがあったのが心残りです。後日でももう少しやりたかったな。里山部会にもよく参加しています。伐倒後の枝打ちをしたり、運んだりが多いですが楽しいです。シイタケの菌打ちも体験しました。シイタケってこうやってニューッと出てくるんだ！人生で初めての作業で感動ものでした。機械類が苦手なので、これからは刈り払い機やチェーンソーにも挑戦してみたいと思っています。活動に参加する時は、岩田さんが乗せて下さいます。とても助かっています。』

いつも黙々と作業されている^{のりこ}訓子さん、例えば^{ひつじ}未年とのこと。例会ではよく受付を担当。「だいたい名前と顔は覚えましたが、この人だあれ？という人はいないですね。」との事。例会はもちろん、里山部会や環研、毎月の会報発送作業にもコツコツとひたむきに一生懸命に参加されています。倶楽部の底力！のりちゃん、これからも宜しく！

今あるひと枝

原田 澄

ゲンゲ(紫雲英) ＜マメ科 ゲンゲ属＞



別名レンゲソウ(蓮華草)。中国原産の渡来植物で高さ 10～25 ㍍の二年草。飼料や水田の緑肥として栽培され、道端や畑地に野生化しているものもある。花期は 4～5 月。紅紫色の花を 7～10 個、輪状に付ける。名は、この様子がハスの花の形に似ていることから。また、これがなまってゲンゲになったと言われている。茎は基部で多数の枝に分かれ長く地面を這う。葉は羽状複葉で質は薄い。花はミツバチの蜜源。^{とうが}豆果は 2～2.5 ㍍で細長くやや曲がり熟すと黒色になる。・・・
▼日当たりのいい田んぼの隅に、ひとかたまり、恥じらうように咲いていたレンゲソウ。▼以前は、まさに日本の田園風景を彩る春の花であり、重要な農作物でもあった。が、化学肥料の利用により著しく減少している。▼レンゲソウの花言葉は「心が和らぐ」。揺れ動く世の^{さなか}最中であつてなお、その姿にほのぼのとした想いがよぎる。唱歌「♪春の小川」の調べとともに。

～佐伯区石内 2024・3～



— 4月 — 活動の予定

倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

- 日時：4月14日(日)9:00~15:00
- 場所・作業：小川フィールド
～環境整備を行います。当日、地域貢献活動で水路清掃を行います。参加の方は7時50分集合です。～
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：北田 090-4899-9629

里山部会

年会費納入のお願い

4月から新年度に入りました。会を運営していく中で、皆さんの会費が大きな支えとなっております。個人年会費は3,000円、振込先は下記の通りです。どうかよろしくお願い致します。

- 日時：4月13日(土)9:30 Bフィールド集合
- 場所：大竹市松ヶ原キッズフィールド
- 内容：フィールドの整備・シーソー設置
横断幕設置のための土台作り
テントタープ設置(西日の日差しよけ用)他
4月は、山菜や竹刀が採れそうなので昼に天ぷら提供を予定しています。
- 連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研部会

メール便への投稿待ってます!!

気付きや感動した体験。「こんな事やっています」などの情報提供。お薦め本など、なんでも welcome。ハンドルネームで!

to-po@morimate-ch.com



～自家木工・クラフト製作～ 自由に参加お待ちしております～

- 6日、13日(各土曜)鹿ヶ谷で作業
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト部会

- 5月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。どなたでも、都合のつく方はご参加ください。
- 日時：4月24日(水)18:00～
 - 場所：袋町市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
 【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
 【口座名】：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com